

多摩南部地域病院 消化器疾患(外科・内科・内視鏡センター)の

新型コロナウイルス感染症対策下での診療について

6月以降の当院における新型コロナウイルス感染症対策下での内視鏡、手術についてお知らせいたします。

☆内視鏡

適応:有症状(上部:吐下血・つかえ、下部:便潜血・高度便秘など)、検診はハイリスクや早期希望者から施行いたします。

対策:患者さんは検査2週間前より自宅待機と検温・症状の観察、行動歴などの記録をし、リスク監視を行います。

検査時は、厳重な防護策(以下)のもと行います。

飛沫感染予防策と接触感染予防策を講じます。ウイルスの侵入経路 目鼻口を守るための个人防护具 N95 マスク、ゴーグル/アイシールド、キャップ、袖付きのガウン、手袋を装着し防護します。また、个人防护具の着脱前後には、手指から肘までの洗浄・消毒を随時行います。

☆手術

適応:手術以外の治療法の検討を十分に行い、まず癌を優先的に施行します。ヘルニアなど良性疾患は緊急度を考慮し施行します。

対策:患者さんは手術2週間前より自宅待機と検温・症状の観察、行動歴などの記録をし、リスク監視を行います。また、手術直前に新型コロナウイルス PCR 検査を施行します。

上記万全の感染対策のもと、消化器疾患診療を行ってまいりますので、どうぞ安心してご紹介ください。

多摩南部地域病院 院長 重松 恭祐

外科部長 桂川 秀雄

内視鏡センター一部長 手塚 徹